

記者会見資料

総合政策部 財政課
(担当 砂山 22-9331)

1. 件 名

令和5年度当初予算(案)の概要について
～過去最大の積極予算～

2. 内 容

(1) 予算編成の考え方

本市の財政は、ウィズコロナのもとで景気の持ち直しが期待され、歳入の根幹を占める市税収入は回復の傾向が見られる一方、現下の物価上昇等の影響により、景気の先行きは不透明な状況に置かれています。このような状況のなか、少子高齢化の進展等による社会保障関連経費の増加、大雨災害等に対する防災・減災対策、老朽化が著しい公共施設の長寿命化対策、グリーントランスフォーメーション(GX)及びデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進など、喫緊の課題への対処が求められております。将来に渡り健全財政を維持しつつ、市民の安全、健康、快適な生活を確保するうえで不可欠な行政サービスを提供していくためには、これまで以上に事業の「選択と集中」を推進し、限られた財源を効率的・効果的に配分する必要があります。

これらを踏まえ、令和5年度当初予算は、市民の「安全・安心な暮らし」を確保することを最優先事項に掲げ、道路・橋梁や公園、学校、保育所等の公共施設における維持修繕・長寿命化対策について、予算を重点的に配分することとし、市民が今後も住み続けたいと思える都市環境と田園環境が調和したゆとりと潤いのある「田園環境都市小山」を築くとともに、グリーン社会の実現に向けて「第8次小山市総合計画」に掲げる7つのまちづくりの基本目標を達成するための諸施策について、SDGsとの一体化を図りながら、効率的・効果的に推進することができるよう予算を編成いたしました。

(2) 予算の規模

令和5年度一般会計当初予算の規模は、前年度比 32 億 5 千万円、5.0%増の681 億円(過去最大)となりました。

(市道補修、生活道路舗装修繕、及び小中学校施設改修等について、令和4年度12月補正予算及び2月補正予算において6億8千万円の一部前倒しを行い、一体的に編成)

(3)予算の特徴

①「田園環境都市小山」の推進

本市の魅力あふれる環境を将来世代に確実につなぐため、引き続き「田園環境都市ビジョン」の策定を進め、都市環境と田園環境の調和ある発展を目指す、持続可能なまちづくりに取り組んでまいります。

② カーボンニュートラルの推進

市民が快適で利便性の高い暮らしを持続できるようにするため、カーボンニュートラルシティを宣言し2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにすることを旨とするともに、脱炭素ライフスタイルへの転換に取り組んでまいります。

③ 公共施設の適正管理及び長寿命化

老朽化が著しい道路・橋梁、公園、学校、保育所等の公共施設の長寿命化対策を推進するとともに、人口減少社会を見据えた公共施設の最適な配置に取り組んでまいります。

④ 防災対策の強化

台風や集中豪雨による大規模浸水被害への対策として、豊穂川の河道の拡幅・築堤をはじめ、調節池の整備や集団移転の推進等、豊穂川・杣井木川流域の排水対策の強化に取り組んでまいります。

⑤ 産業・都市・教育基盤の整備

令和5年度計画最終年度の「都市構造再編集集中支援事業間々田駅周辺地区・大谷地区」、令和5年度竣工予定の「大谷地区中心施設」の他、栗宮新都心第一土地区画整理及び間々田のじゃがまいた伝承館の整備等を着実に推進してまいります。

(参考)主な経費の比較

(単位:百万円、%)

性質別	令和5年度		令和4年度		対前年度比		
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	構成比
義務的経費	31,666	46.5	31,819	49.1	△ 153	△ 0.5	△ 2.6
人件費	9,843	14.5	9,965	15.4	△ 122	△ 1.2	△ 0.9
扶助費	16,175	23.7	15,841	24.4	334	2.1	△ 0.7
公債費	5,648	8.3	6,013	9.3	△ 365	△ 6.1	△ 1.0
投資的経費	9,444	13.9	7,642	11.8	1,802	23.6	2.1